

# クロスロード

NPO法人コミュニティ日高 人と地域を元気にするコミュニケーション広報誌

VOL.  
**41**  
2021年3月

## 町に住んでる素敵な人

表紙写真  
スノーシューでコウノトリジャンプを  
披露する前田敦司さん





# 町に住んでる 素敵な人

NPO 法人  
かなべ自然学校  
MAEDA ATSUSHI  
前田敦司さん



1984年 日高町栃本 生まれ  
2006年 内装工事監督の会社に就職  
2008年 結婚  
2009年 東京で暮らし始める  
2011年 震災後、日高町にUターン  
2013年 NPO法人かなべ自然学校  
設立  
2020年 「TOIRO」開校



## TOIRO (トイロ)

日高町の「冬」といえば、神鍋高原の雪景色が心に浮かぶ。そこで今回は、神鍋で活躍されている「NPO法人かなべ自然学校」前田敦司さんにお話を伺うことになった。

彼のオフィスはてっきり神鍋高原にあると思い込んでいたが、実際は江原駅近くにあった。旧さとう（グローアップビル）の一階を改装した広い空間で明るく開放的である。

かなべ自然学校では、昨年から「デモクラティックスクールトイロ」という名称で「学校になじみにくい子どもを対象とした学びの場」を目的とする事業に取り組んでいる。デモクラティックとは「民主主義」という意味で、トイロとは「おとな子ども関係なく自由で平等な立場である。みんなと違ってもよい。十人十色でよい」ということから名付けられた。子どもたちがそれぞれの個性に向き合い、尊重し合いながら、興味のある事柄にとことん向かい、自分に合う生き方を見つけていく、という考えの学校だ。かなべ自然学校の事業としては、子どもを対象としたキャンプスクール、大人も参加できるスノーシューやツリーイングなどのアクティビティに次いで、3つめの事業となっている。

## これまでのこと

前田さんは、Uターン（都会に働きに出て故郷へ戻る）をした人である。日高町で育ち、舞鶴高専機械科で学んだが「これは自分がしたいことは違うな」と思ったという。5年ある高専を4年で退学したあと、大阪でオフィス内装工事の監督業をおこなう会社に就職する。2008年に由香里さんと結婚。その翌年、同社の東京支店を立ち上げ、都内で暮らすことになった。そして、2011年3月11日、あの東日本大震災が起こった。その時、夫妻には生まれたばかりの娘さんがいた。「仕事は順調でしたが、このままではいづ何が起きるのかもわからない。東京での生活を見直そうと思いました。」

震災後まもなく、故郷の日高町に戻り今後の暮らしや仕事について模索して



いたあるとき、鳥根県の知人から「自然学校を立ち上げるから手伝ってもらえないか」と頼まれることになった。

「それは子どもたちだけが参加するキャンプというプログラムの中で、子どもたちが主体的に取り組む姿が印象的でした。」

このような学びの必要性に共感した彼は、その2年後、仲間とともにNPO法人かなべ自然学校をスタートした。



## 今、思うこと

生まれ故郷に戻った前田さんは、ここの住みやすさをあらためて再認識したそうだ。

「子どもの頃過ごした自然環境が今も残り、町は静かだけど人々の気配もあって自然だけじゃない。これが当たり前になって有難さ。近くには、豊岡市街や城崎温泉もあり、少し足を延ばせば2時間で京阪神にも遊びに行ける環境のよい地方に住んで、自然の中で遊ぶこともできるし、都会で遊ぶこともできます。」

とくに、自然遊びの大切さについて、熱く話してくださいました。

「自然の中で遊ぶのは危険だ、だから避けるというのではなく、何が危なくてどうすれば安全なのかを考えるのが大切だと思います。昔はガキ大将がいて、面倒を見てくれていました。遊びながら成長の機会を作ってくれていました。また自然の中で遊ぶことが当たり前になればいいと思います。」

「今も自然環境は変わっていません。昔と違うのは人の考え方が変わったこと。失敗を避けるようになったのかもしれない。失敗がダメのではなく、失敗するからこそ、より良くなる方法を考える力が身につくのだと思います。」



文・写真／松岡 徹  
キャンプ等写真／かななべ自然学校

今、前田さんたちは、コロナウイルスの影響をなんとか乗り切ろうと工夫する毎日が続いている。これから春休み、GW、夏休みと大きな休日が控えるなか、事業プランを検討中だ。

「家族が自然の中でゆったり過ごしてもらえそうな企画をしたいと思います。親子関係がグッと近くなりますよ。」

自粛自粛と閉じこもりがちなの日々が続いているが、自然に恵まれた我が町、日高町の素晴らしさを感じてみてはいかがだろうか。







## ～日高東中学校吹奏楽部～

「第48回兵庫県アンサンブルコンテスト」金賞！

「第47回関西アンサンブルコンテスト」銀賞！



1月16日(土)高砂市文化会館で開催されたコンテストで見事金賞受賞。60団体中、県代表8団体の中に選ばれました。

2月11日(木)関西大会に出場し、銀賞という素晴らしい賞を受賞されました。

曲目は「オルケゾグラフィ 舞踏曲集」より「剣の踊り」「バスダンス」等6曲。一番大変だった事は、「指揮者がいないので、最初の一音を合わせる事」と先生。コロナ禍での部活。次の目標に向かって練習中！

～ ガンバレ 日高東中学校吹奏楽部 ～



コメントいただきました

### ♪ 部長 細井 渚紗 (ほそい なぎさ) さん フルート

私が学んだことは「常に平常心」です。平常心を保つには、目の前の大切なことに集中することと、仲間を信じて絶対にやり抜くという強い気持ちをもつことが大事だと気付きました。関西大会まで出場でき、何事にも動じないという強い精神力を得たと思います。地区大会のときは練習のときに音が鳴らなかつたり、うまく吹けなかつたりと不安が入り交じていました。しかし、最後は私がしっかりと演奏して、みんなを引っ張っていく！！という気持ちに変化していました。この関西大会では、目標の金賞受賞が達成できず、悔しい気持ちと次の夏のコンクールでは全員で、笑顔で終わりたいという気持ちでいっぱいです。応援して下さった方にも、これからもよい演奏をお届けしたいと思っているので、部員一同、日々の練習を頑張ります。

### ♪ 田路 育弥 (とうじ いくみ) さん バリトンサクソフォン

関西大会は、京都コンサートホールという響きのすばらしいステージで演奏し、地区大会や県大会と違った楽しさがありました。

無観客での開催で、いつもと見える景色が違い緊張しましたが、練習通りの演奏ができたと思います。良い演奏ができてこそ本当の楽しさがあると思いました。

### ♪ 大桐 稀来 (おおぎり きら) さん クラリネット

関西大会で学んだことがたくさんありました。まず、関西大会に出場するようなチームの人は、みんな挨拶や返事をしっかりしていました。

会ったこともない人でもすれ違うたびに気持ちよく挨拶をしてくれ、当たり前のことを当たり前でできるチームは強いんだと思いました。

そして、「本番は練習のように」という心構えも、とても大事だということです。大きな大会になればなるほど会場の空気感も違い、普段の自分を見失いがちになります。だからこそ普段の練習を本番のように緊張感をもち、本番を練習のように演奏することが大事だと実感しました。

### ♪ 小田垣 みのり (おだがき みのり) さん クラリネット

今回の大会で思ったことは、常に自分の任されたパートに責任をもち、最後まであきらめないこと、そして、何より楽しく吹くことが大切だということが大切だと思いました。

大会で演奏した曲は私のソロから始まります。こういうコンテストでは、はじめが肝心だということは分かっているから、絶対に間違えられないという緊張感に押しつぶされそうなこともありました。でも、一緒に頑張ってきた仲間のために、絶対やりきろうと思いました。仲間を信じてやりきったこと、多くの人に応援してもらったことなど、演奏以外にも心が熱くなる経験ができました。



### ♪ 小山 優妃 (こやま ゆうき) さん テナーサクソフォン

私は、練習の大切さを改めて実感しました。本番、なんとかかなるかなと、勢いで乗り切ってしまうか甘い気持ちになったときもありました。

でも、兵庫県代表に選ばれたということをお忘れず、コツコツ練習を重ねました。振り返ると地道な練習を重ねたことが、今回の結果に繋がったと思います。これからも、普段の練習を大事にしていきたいと思いました。そして、応援してくれた方への感謝も忘れずにいい演奏の贈り物ができたらと思います。

### ♪ 三田 純鈴 (みた すみれ) さん 打楽器

私は、ここまできたら関西大会でも金賞をとりたと思っていました。しかし、結果は銀賞でした。本番、自分では緊張した感じではなかったし、やる気しかなかったのに、普段では絶対しないミスをしてしまいました。

なぜ、ミスをしてしまったのか、いくら考えても分かりません。思い出したのは本番のステージには魔物がいるという言葉です。その魔物は自分で作り出す緊張や不安です。知らず知らずのうちに、その魔物に飲み込まれていたのかなと思います。今でももう一度やり直したいほど悔しいです。でも、時は戻りません。今回感じたことを糧に次のステージでは「後悔などあるはずがありません！！」といえる演奏をやり切りたいです。

### ♪ 田中 来実 (たなか くるみ) さん フルート

私は、このチームで1人だけの1年生です。私はフルートを始めたのが今年の6月からです。先輩に混じって、まだ楽器を始めて間もない私が足を引っ張ってないか、とても不安でした。しかし、先輩たちにとっては、中学校最後のアンサンブルコンテストなので、自分のできることは全力でやろうと心に決め、本番の舞台に立ちました。今回、関西大会という大きなステージに立たせてもらうまでの先輩達の取り組み、心構えなどを、今後の活動に活かしていきたいと思いました。

### ♪ 吹奏楽部顧問 難波 佐千子 (なんば さちこ) 先生

この管打7重奏は、2年生に1年生1人を入れたチームです。コロナ禍の中、思うように練習ができないときもありましたが、地区大会でグランプリ、兵庫県大会で金賞・代表、関西大会出場と、なんだか夢のような時間を過ごしました。いつも生徒たちに言っていることは、金賞を取れたからすごい。ではなく、良い演奏、人を感動させる演奏ができたことに喜びを感じてほしいということです。仲間との絆や、目標に向かって真剣勝負することなど、中学生という多感な時期に、様々なことを経験してほしいと思います。今回のアンサンブルコンテストには、東中から3チーム出場しました。どのチームも一生懸命練習しました。いつも熱心で感心します。そんな姿を見ているからこそ、顧問として、次は、みんなで感動できる音楽を演奏したい。素晴らしいステージで演奏したいと、関西大会の演奏中に部員全員の顔が浮かびました。そして、応援してくだる保護者のみなさま、地域の方々の声に、生徒たちは大変励まされています。いつもありがとうございます。みなさまに、東中の楽しい音楽をお届けできる日を楽しみにこれからも練習に励んでいきます。

### ♪ 楽曲解説 ♪

#### 「オルケゾグラフィ 舞踏曲集」

作曲者のトワノ・アルポは司祭。当時の若者に社交の方法を教える目的でダンスの教則本を著す。

特筆すべきはダンスのステップや動きが実際の曲の楽譜に対応させて、イラストを用いて詳細に記述させている。

舞踏曲集には21曲の舞曲の楽譜が記され、今回は6曲選び構成されている。

パヴァーヌ「わたしの美しい人」

剣の踊り

ピナゲイのブランル

バスダンス

マルタ島のブランル

馬のブランル



関西大会出場チーム



## 収益と費用(経費)は車の両輪

### 費用(経費)の世界は細かく目配りを

収入と費用(経費)は、バランスを図らなければならない。費用は固定費・変動費の視点から分析して、改善を行う。削減ありきの手法は避けなければならない。(各指標は各総会資料から引用)

#### 【収支バランス】

(単位:千円)

事業年度	10期 (H29/4/1~30.3/31)		11期 (H30/4/1~31.3/31)		12期 (H31/4/1~R2/3/31)		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
収 益	32,650	100.0%	33,517	100.0%	33,072	100.0%	
経 費	事業費	29,707	91.0%	33,100	98.6%	32,736	98.0%
	管理費	1,653	5.1%	2,100	6.3%	1,768	5.3%
	合 計	31,360	96.1%	35,200	104.9%	34,504	104.3%

11期から収支バランスが崩れ出した。収益増加以上に事業費が増加、収益に見合った事業費など費用対効果が悪化した。事業毎に予算計画を立て、遂行していくことにチャレンジすべきと考える。

#### 【経常費用】

(単位:千円)

事業年度	10期 (H29/4/1~30.3/31)		11期 (H30/4/1~31.3/31)		12期 (H31.4/1~R2.3/31)		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
事業費	人件費	16,529	52.7%	19,389	55.1%	18,067	52.3%
	その他経費	13,178	42.0%	13,711	39.0%	14,669	42.5%
	合 計	29,707	94.7%	33,100	94.0%	32,736	94.9%
管理費	人件費	1,076	3.4%	1,202	3.4%	1,120	3.2%
	その他経費	577	1.8%	898	2.5%	647	1.9%
	合 計	1,653	5.3%	2,100	6.0%	1,768	5.1%
合 計	31,360	100%	35,200	100%	34,504	100%	

費用の分類は、管理費は固定費、変動費は事業費と考察される。変動費の割合は大変高く固定費の割合が低い。変動費割合が高ければ割合を低下させれば限界利益が大きくなる。したがって、変動費のウエートの高低が収益改善を左右する事業体と言えるので変動費の改善に注力する。

次頁へ



【事業費(変動費)の内容】

(単位：千円)

事業年度	10期 (H29/4/1~30/3/31)		11期 (H30/4/1~31/3/31)		12期 (H31/4/1~R2/3/31)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
人件費	16,530	55.6%	19,389	58.6%	18,066	55.2%
公演料	1,548	5.2%	1,835	5.5%	1,195	3.7%
委託料	208	0.7%	283	0.6%	558	1.7%
通信費	332	1.1%	323	1.0%	332	1.0%
水道光熱費	3,912	13.2%	4,263	12.9%	4,333	13.2%
事務消耗品費	323	1.1%	708	2.1%	528	1.6%
原材料費	504	1.7%	581	1.8%	621	1.9%
備品消耗品費	696	2.3%	531	1.6%	686	2.1%
修繕費	980	3.3%	964	2.9%	992	3.0%
車両経費	205	0.7%	209	0.6%	443	1.4%
リース料	512	1.7%	252	0.8%	174	0.5%
租税公課	1,491	5.0%	1,495	4.5%	1,578	4.8%
保守点検費	1,950	6.6%	1,763	5.3%	2,960	9.0%
その他	516	1.7%	504	1.5%	270	0.8%

【管理費の内、人件費】

(単位：千円)

人件費	1,076		1,201		1,120	
-----	-------	--	-------	--	-------	--

〈主費用〉

○人件費 給与体系の見直し

- ・職員からの納得感も求められることから、双方向性が必要となる。
- ・削減ありきでなく、成果に応じた給与体系を取り入れていく。最低賃金の引上げ対応も考慮すること。
- ・費用対効果を念頭に事業での適正な必要労働時間を計画して遂行する。
- ・適正人員も検討する。

○公演料

- ・公演料に見合った収益が見込めるか。個別毎の収支計画を立て実践する。  
決して、収支に見合わないものを行わないものでない。

○水道光熱費

- ・電気料金価格は自由化が進展している状況下にある。電気小売業者は市の決定権下との回答であるが。価格競争下での料金になっているか、調査検討すべき。

次頁へ

○修繕費

- ・日高文化体育館、植村直己記念スポーツ公園共に建設年数も相当経過し、あらゆる箇所の修繕等が今後より頻繁に発生する可能性が高い。計画的な修繕計画に基づいて遂行する。いずれの施設共に過大な設備から通常の収支計画では限界を認めない。したがって、市の支援を受ける。

○車両経費

- ・自動車の運行管理記録簿による管理を行う。

○租税公課

- ・消費税が大部分 収入代金に対する原価意識が乏しく、収益を圧迫していないか 代金(価格)と消費税は分離して代金を設定する。消費税は預り金である。

○保守点検費

- ・契約内容等の見直しする。

費用(経費)については、変動費についてもほぼ固定費に近いと考えられる費目が多い。資料また外部からでは分からない点が多々ありますが、人件費が高ウエートから事業収支が左右され見直し、改善等が不可欠と考える。したがって、職員も含めて一つ一つ細かく内容を把握して、対応策等を構築して日々管理を継続して実践することが肝要と思う。

特に人件費については、労働意欲等に繋がり慎重な対策が求められる。収入についても言えますが、事業運営(経営状況)を職員と意識共有して、経営課題の意見や改善策等を協議して難局を乗り越える。

「挑戦しなければ、活路は開けない」

以上





# スポーツ指導者等表彰

岡森成直（おかもり まさなお）氏 / コミュニティ日高副理事長



スキー指導者として、技術力の向上に尽力し、万場スキー学校長を務めるなど、選手の育成、スキー競技の振興・発展に努めた。  
また、日高町体育協会及び豊岡市体育協会などの役員を歴任し、スキー競技だけではなく、地域のスポーツ振興に尽力された功績が顕著により令和2年度 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者として表彰された。

## 2020年度 中止事業について

2020年11月以降、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になりました。

### 文化振興事業

- ・ダンス&ピアノコンサート（2020年11月予定）
- ・第8回 学校訪問コンサート（2021年3月予定）
- ・第10回 ひだか市民吹奏楽のつどい（2021年3月21日予定）

### 日高文化協会

- ・交流研修会
- ・文化祭代案（講演会）

### スポーツクラブ21日高

- ・第6回 日高地域ドッジボール大会（2020年11月予定）

### 日高町体育協会

- ・第48回 神鍋高原市民スキー大会（2021年2月7日予定）

## 日本女子ソフトボールリーグ 1部 豊岡大会

- ◆第53回 大会は無観客で開催されました。【9月12日（土）・13日（日）】  
ホームタウン（兵庫県）シオノギ製薬チームは総合8位でした。
- ◆第54回 豊岡大会開催予定（今年も「世界最高峰のプレー」を体感できます）
  - ・と き／2021年10月16日（土）・17日（日）
  - ・と ころ／全但バス但馬ドーム
  - ・入 場 料／1,000円（一般）、600円（中学生）
  - ・参加チーム／・伊予銀行 VERTZ（ヴェールズ）・トヨタ自動車 レッドテリアーズ  
・Honda Reverta（リベッタ）・シオノギ製薬 ポポンギヤルズ

### 編集後記

今号は、冬季の取材～発行のため、雪をテーマとして選考しました。コロナ禍による沈みがちな気持ちの中、少し明るい話題が提供できたかなと思います。

（クロスロード編集部）

NPO法人コミュニティ日高

管理施設 日高文化体育館  
植村直己記念スポーツ公園

〒669-5305

兵庫県豊岡市日高町祢布954-6

TEL/FAX 0796-42-2505

http://www.comhidaka.or.jp/

〒669-5363

兵庫県豊岡市日高町野829

TEL/FAX 0796-44-0440